

ヒットチャートランキング上位に入る楽曲の特徴分析

横山 真男^{†1} 齊藤 勇也^{†1}

1980年代から2000年にヒットした邦楽の楽曲構造を分析し可視化を行った。対象として、オリコンランキングの1980年から2007年の各年でTop10に入る楽曲について調査した。本研究では、曲のサビに注目し、コード進行の頻度やパターン、シンコペーションの数、動機のパターンを取り上げ、年毎にその特徴を分析した。

Analysis of Japanese pop music ranked the Top 10 in Oricon chart

MASAO YOKOYAMA^{†1} YOUYA SAITOU^{†1}

We analyzed and visualized the music structures of the Japanese pop music that made the hit from the 1980s to 2000s. The musical pieces investigated here are that the music ranked in Top10 at each year of the Oricon ranking from 1980 to 2007. In this study, we focused on *sabi* (chorus) of the music and investigated the characteristic of the chord progression, the number of syncopation and the pattern of the motive.

1. はじめに

音楽とは人間が組織付けた音の集合であるが、J-POP やジャズ、ロック、演歌、クラシックなど種類は様々で年間で生まれる音楽は膨大な量となっている。その数多く生まれる音楽の中から、名曲と呼ばれるヒット曲が生まれ後世に長く歌い親しまれていく。作曲家としては名曲を作ろうと日々音楽を研究したり想像力を高めたりといった努力を行っているが、過去のヒットした音楽の楽曲構造を調査しそのモデルの特徴を把握できれば、ヒット曲を生み出す基礎理論があれば何らかのヒントになるかもしれない。

これまでもポップス系の音楽については、リズムやグルーブなどのポップスらしさの分析や、ジャンル分けや自動作曲などのアプリケーションのためなど、ポップス曲の分析が行われてきた[1-4]。

本研究では、これまでのヒット曲を分析して今後の作曲活動に寄与するための名曲モデルの構築を意図し、ヒット曲の一指標としてオリコン年鑑 1980~2007年の売上ランキングの1~10位までの楽曲を対象としてJ-POPジャンルの楽曲の分析を行った。特に、今回は曲のいわゆるサビの部分に着目したが、聴衆の多くはその曲の印象として残っている箇所であろうからである。サビの特徴量といっても、旋律のリズムや音高から、音色、伴奏、歌詞に至るまで様々なものが考えられるが、今回は、コード進行、シンコペーション、動機(メロディ・パターン)の3点について着目した。

2. 楽曲の分析方法

本研究では、オリコン年鑑の1980年~2007年までのランキングを分析対象とした。最新のオリコンランキングを

含めず、2007年のオリコンランキングまでにしたかについては、2008年頃からアイドルの外見やCDに付属する握手券、ファン投票権などの特典を目当てに買われることが多くなり、音楽そのものの評価ではなく、いわば”おまけ”の影響が売り上げ枚数を左右するようになってきた。つまり、ランキングと音楽本来の良し悪しの関連性が定かでないためであるため、本研究では2007年までのランキングTop10までを使用することにした(対象とした楽曲は本文未付録1を参照)。なお、今回は楽譜の入手の都合上、全ての年でTop10を用意することができなかったが、合計で150曲を分析対象とした。

2.1 コード進行の分析

調号記号(#やb)からサビ部分の主調を決定し、各コードは主和音からの距離をコード距離 D_c とし、出現頻度やコード進行を記録した。また、サビの旋律の分析としては、動機パターンの数やシンコペーションを行った。なお、他にも音高の跳躍や動機のパターンの解析などが考えられるがそれらは今後の課題とした。

2.1.1 主調の決め方

サビの部分の主調は調号記号とサビの終端コードから決定した(図1)。サビの末尾のコード名から、majorキーなら長調、minorキーなら短調とした。

The image shows a musical score for a chorus. The top staff is the treble clef with a key signature of one sharp (F#). The chords are G#m7, A#, A#Bb, and Bbm. The lyrics are "さいごのこいであるように". A red circle highlights the G#m7 chord and its corresponding notes in the melody.

図1 調号と末尾のコードより短調の曲と判定

^{†1} 明星大学
Meisei University.

たとえば、図1ではフラットが5つあり、minorで曲が終わっているの、この場合は変ロ短調(B♭ minor)だとわかる。

2.1.2 主和音からの距離によるコード番号

次に、コードの分類についてであるが、サビにおける各コードが主和音からどれだけ離れているかで記録することにした。ここで、主和音からの各コード距離 D_c を導入するが、これはピッチクラスのような数え方であり、主和音と同じコードが出てきた場合を0とし、コード名が半音上がるとに値を1加算し、一番離れているコードがでてきた場合を11とする。例えば、主調がCとすると主和音はC or Cmとなるので、D♭は1、Dは2、以降順次決めていくとBは11となる。

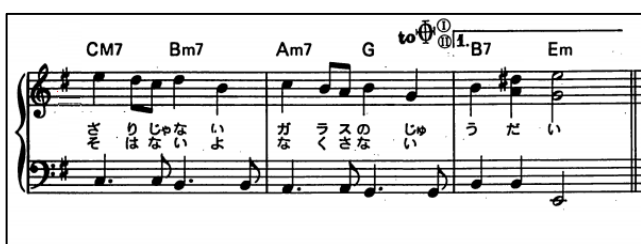


図2 主和音からの距離 D_c によるコード分類

実際に、拍子単位のコード進行についてコード距離 D_c を図14を例にすると、まず、主音がホ短調の「E」であり、コードが「C」「B」「A」「G」「B」「E」の順番で、各2拍ずつ書かれている。「C」は「E」から半音換算で上方に8つ離れており、「B」は同様に「E」から7つ離れている。よって、順番で書き換えると、1小節目の1拍目は8、1小節目の2拍目も8、3拍目と4拍目は「7」、2小節目の1拍目は5となり、この楽譜のコード進行は拍子が4/4であるので1拍ずつとると8,8,7,7,5,5,3,3,7,7,0,0となる。

また、CmやCsus4といったようにコード名の右下に付加するサフィックスについても記録している。

以上のように数値に変換することで、いわばすべての曲をCmajorの曲に転調したととらえてもよいが、曲それぞれの調性の違いを封じてコード進行を記録でき、またプログラムによる分析の自動化が容易になる。なお、元の調性も記録しておくので必要であれば実コードに戻せる余地も残してある。しかし、G#とA♭が同じ番号になりこれらの区別がつかないことになるが、サビのなかでよほど特殊なコード進行を取らない限り（恐らくあっても近親転調までかと思われる）、G#といった遠い転調は少なく、この場合は長三度近親転調のA♭になるであろう。今後、必要に応じて再考が必要になるかもしれない。

プログラムでコード分析自動化と可視化を行うために、すべてのコードの遷移ほか、1曲ごとに下記の情報をテキストファイルに記録した。

- ・ 楽曲名
- ・ 歌手名
- ・ 拍子
- ・ 主調
- ・ 全拍数
- ・ 小節番号、拍、コード距離、サフィックス (×拍数分)

2.2 小節単位の動機パターン

音楽を形作る音のまとまりの中で、最も小さい単位を動機(モチーフ)という。音符が2つ繋がっている時点で動機といえるのだが、本研究ではそれよりやや大きくメロディ構成をとらえ、1小節で区切った場合のパターンを1つの動機パターンとみなした(図3)。



図3 小節単位の動機パターン

例えば、図24では、動機①が2つあり、動機②が2つある。そこで、動機①をAパターン、動機②をBパターンとし、それぞれの数を数えていった。音高の違いは考慮せずリズムパターンで分類し、旋律が似たような音列パターンで構成されているか否かがわかることになる。

2.3 シンコペーションの有無

現代のポップス曲のノリはシンコペーションや後打ちという裏拍に強拍が移動することによって作られる。シンコペーションの数のカウントはタイと呼ばれるも強拍移動音(図4)により行った。このタイの係り方の違いによる詳細なリズムパターンで分類することも必要であるが現段階では回数のカウントまでを行った。

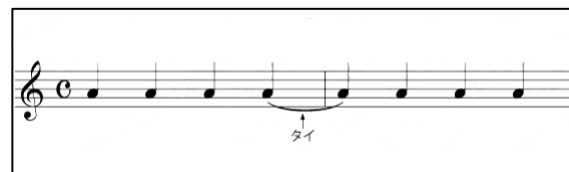


図4 タイによる強拍移動の例

3. 分析結果

3.1 コード進行の可視化

1980年から2007年まで1年ごとにコード進行をプログラムにより分析を行った。コード進行の2つ組や3つ組の出現頻度、コード名のサフィックスの遷移、シンコペーションの数、動機パターンの分類を行った。また、コード進行に関してはコード距離 D_c といった数値では直感的に分かりにくいのでOpenGLを用いた三次元の可視化プログラ

ムを作成した。

例として図5に示すように、1984年のヒット曲6曲分のコード進行を可視化したものを示す。右下へ延びるx軸方向に時間軸（小節と拍）を取り、左方向y軸にコードの複雑さとしてサフィックスを、上方z軸に主調を原点にしたコード距離 D_c を示し、上側にメジャーコード、下側にマイナーコードに取っている。点が一つの拍で、色の違いで曲を区別している。またy方向のサフィックスは、原点がサフィックス無しで、次いで7th, 9th, 11th, dim, sus4, 6thの順に遠くなり、多様性があるとy軸方向に凹凸がで、より複雑なコード進行だということが見て取れるようにした。

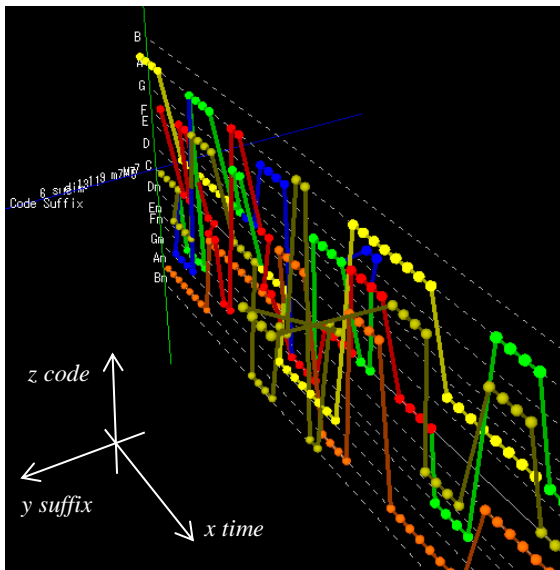


図5 1984年のヒット曲のコード遷移 右下方向x軸に時間軸（小節と拍）、図の上下z方向はメジャーコードおよび原点をはさんで下にマイナーコードを、図の左y軸方向にコードの複雑さとしてサフィックスを示す。曲の区別は線の色で表している。

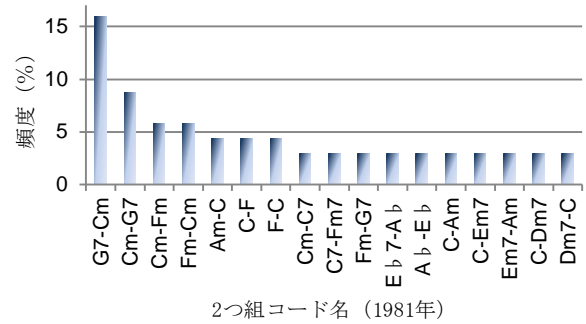
1980年から2007年までのコード進行を年ごとに可視化したグラフをみると、共通していることは、多くのコードが4拍ずつ（1小節）ないし8拍ずつで変化していることが目につく。中には2拍で動いているものもあるが、全体的にみると4拍ずつ移り変わっているものが多かった。

また、サビの最初にマイナーコードから入る曲が比較的少ない。マイナーコードは暗くて悲しい響きがあるが、全体的に暗い曲といえども、曲の華であるサビの導入部分にはもってこない場合が多いようである。そして終始メジャーコードで作られた曲というものもあまり存在しなかった。これはずっと単調な曲を聴いていても人は飽きてしまうため、明るい曲でもマイナーコードが入っているのであろうと推測する。マイナーコードだとAmから始まる曲が多く表れた。

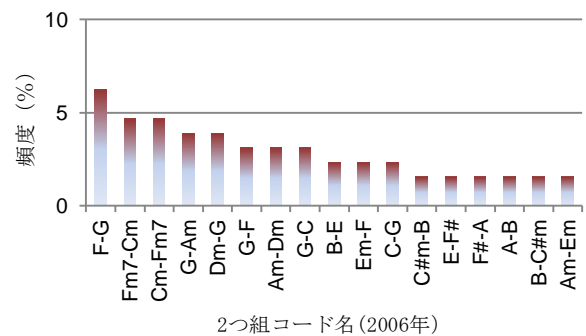
3.2 コードの2つ組と3つ組の出現頻度

図6は、コード進行の出現頻度を多かった順に2つ組と

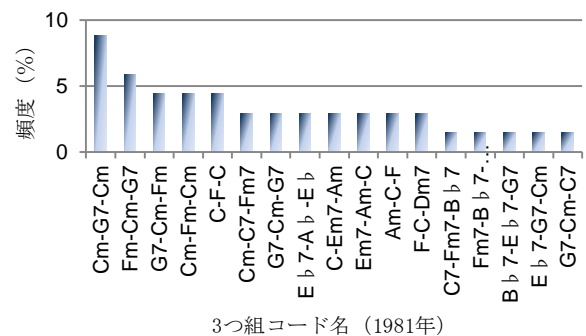
3つ組単位で調べたものである。頻度は出現頻度をその年の曲における全コード数で割っている。分析した曲数は1981年と2006年ともに7曲で、コードの割り当て数はそれぞれ70と128である。傾向としては、年代が増えるにつれコード種類の多様化と1小節当たりのコード割当て数が増加している。



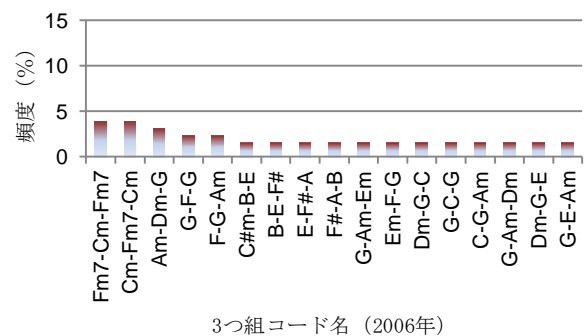
2つ組コード名 (1981年)



2つ組コード名 (2006年)



3つ組コード名 (1981年)



3つ組コード名 (2006年)

図6 コード組の出現頻度の比較 (1981年、2006年)

図6の1981年のコード進行をみると、I-V、V-I、IV-Vといったドミナントとサブドミナントからなるクラシカルなカデンツによる進行が多かった。2006年では、FmやEm、C#mといった古典的なカデンツパターンではないコードを含む進行が多く表れるようになった。だが、2006年付近のカデンツを見ても、サブドミナントとドミナントというパターンが多いので、年を重ねても古典的なカデンツコード進行が基本であることには変わりはない。また、テンションコードが少なく、トライアドのように比較的簡単なコードネームが使われていることがヒット曲に共通しているようである。

3.3 サフィックス

上述の7thやdimといったダイアトニックコード以外が年毎にどう変化してきたかを示す。年毎で曲数が違うので合計値に曲数を割ったものを図7に示す。

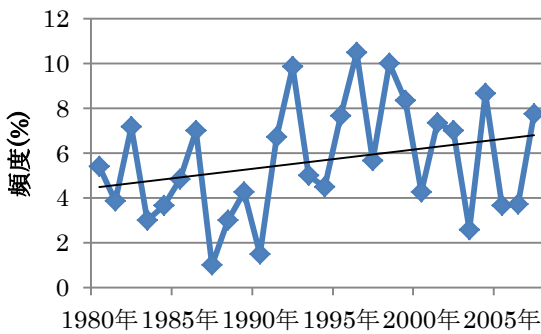


図7 年代別の7th

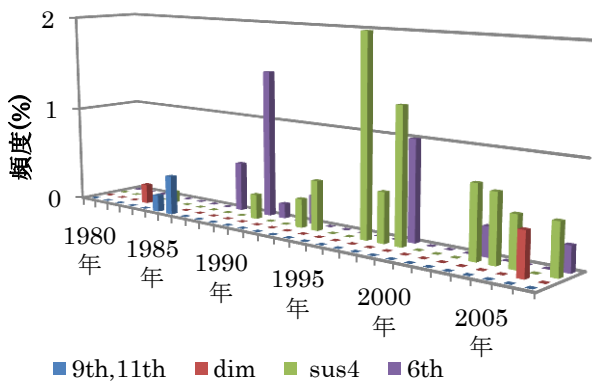


図8 年代別のsus4

サフィックスとして最も多かったものは7thコードであったが、ほかのサフィックスは比較的少なかった。

図8のsus4では、1980年代の曲にはあまり見られなかったが、1997年を境に多く現れてくるようになった。6thも同様に1987年まではあまり見られなく、1988年以降でたびたび見られる程度である。9thや11thといったテンションコードは1985年と1986年現れ、それ以降出てこなくなった。dimも同様に、1983年と2006年しか現れなく、

これらから見るようにダイアトニックコードと7thコード以外は使われる頻度は低く、分かり易いコードであるほうが耳馴染みが良いのかもしれない。

3.4 シンコペーション数の変化

1980年から2007年までの年ごとの結果を図9に示す。多いもので26回もシンコペーションが現れたものや全くない曲もあり売れた曲のシンコペーション数はそれぞれである。しかし近似線を見ると全体的に上昇していることがわかり、1995年までは一曲当たり7か8箇所まで増加は緩やかだが、1996年以降から大きく増えている。また3年の周期で増減を繰り返し、年代を追うごとにシンコペーションが増加していた。次の動機と含めてシンコペーションの出現パターンや位置などの詳細の検証は今後の課題である。

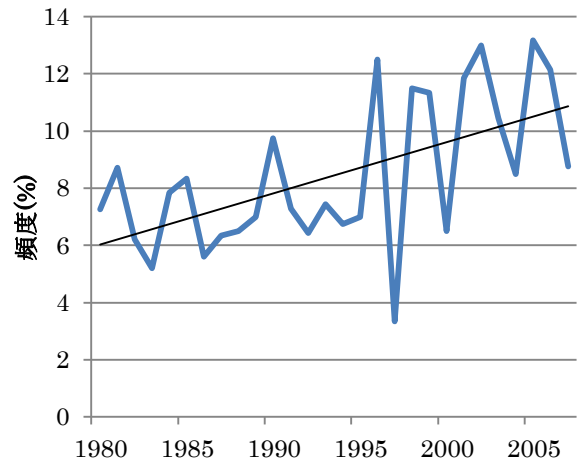


図9 1曲あたりのシンコペーション数の推移

3.5 サビの動機パターン

サビのメロディの動機の推移について、図10に年毎の動機の数の推移を示す。年により多くの動機が現れる曲や少ない曲があるが、年毎の1曲当たりの動機数の平均は増加する傾向にある。

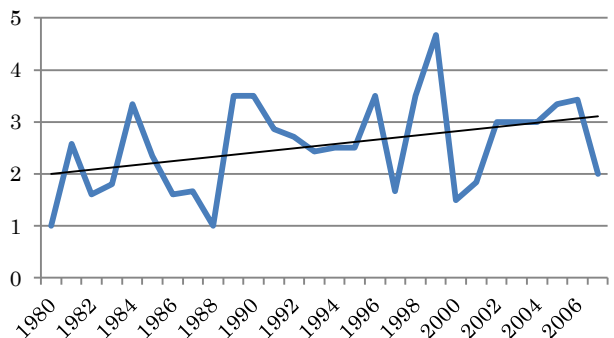


図10 年代ごとにおける動機（一曲当たりの平均）

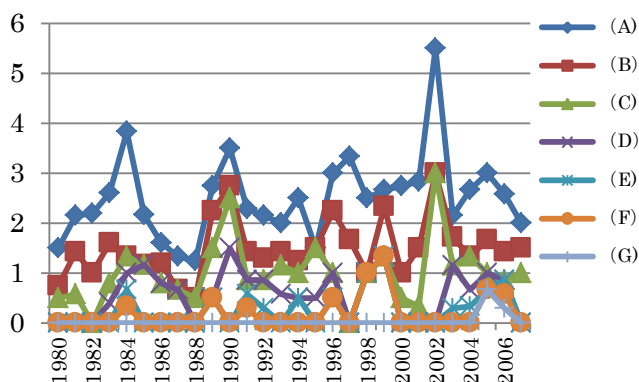


図 11 年毎の動機の種類とその出現数 (一曲当たりの平均)

図 11 はサビの動機パターンの数とその出現数をまとめたものであるが、(A) から(G)は 1 曲内の動機のパターンの種類でありサビの先頭から順にパターン A,パターン B,パターン C…と便宜的に付けている。同期のパターンとしては最大 7 つ(G)までがあり、1984 年、1990 年、1997 年、2002 年付近では動機のパターン数は多くみられ、1980 年、1988 年、1995 年付近では少なかった。4 年周期で動機の数が増減があった。また、年代が増えるにつれパターン数が増えていることからメロディのバリエーションの豊富さは近年になるにつれて重要な項目になってきたのかと思われる。

4. おわりに

1980 年から 2007 年までのオリコンチャート上位 10 までのヒット曲に対してコード進行、シンコペーション、動機の傾向を解析した。コード進行では古典的なカデンツが多

かったが、年を重ねるにつれ Fm や C# といった変化が現れ、dim や sus4、テンションコードも増加していった。シンコペーションや動機は年が経つにつれて増加し単調増加ではなく周期性もみられた。

参考文献

- [1] 鈴木崇也, 長谷川智史, 穴田一, メロディラインによるジャンル判別, 情報処理学会研究報告, 音楽情報科学 (2011) pp.1-6.
- [2] 長澤慎子, 渡辺知恵美, 伊藤貴之. 定型コード進行パターンに着目したポピュラー音楽クラスタリング手法の提案, 電子情報通信学会技術研究報告, データ工学 107.131 (2007) pp. 375-380.
- [3] 三浦雅展, 青山容子, 谷口光, 青井昭博, 尾花充, 柳田益造. ポップス系の旋律に対する和声付与システム: AMOR. 情報処理学会論文誌, 46(5) (2005) pp.1176-1187.
- [4] 奥平啓太, 平田圭二, 片寄晴弘. ポップス系ドラム演奏の打点時刻及び音量とグルーブ感の関連について. 情報処理学会 音楽情報科学研究会 研究報告, (2004) 21-26.

付録 オリコンチャートランキングTop10(1980年~2007年) 今回の解析対象は黄色網掛け

1980年代

順位	1980	1981	1982	1983	1984
1	ダンシング・オールナイト もんだいブラザーズ	ルビーの指環 寺尾聰	待つわ	あみん	さざんかの宿 大川栄策
2	異邦人 久保田早紀	奥飛騨戀情 竜鉄也	セーラー服と機関銃 薬師丸ひろ子	矢切の渡し 細川たかし	ワインレッドの心 安全地帯
3	大都会 クリスタルキング	スニーカーぶる〜す 近藤真彦	聖母たちのララバイ 岩崎宏美	めだかの兄妹 わらべ	Rock'n Rouge 松田聖子
4	ランナウェイ シャネルズ	ハイスクールララバイ イモ熟トリオ	心の色 中村雅俊	探偵物語 薬師丸ひろ子	涙のリクエスト チェッカーズ
5	順子 長洲剛	長い夜 松山千春	北酒場 北酒場	細川たかし 永雨	佳山明生 哀しくてジェラシー チェッカーズ
6	贈る言葉 海援隊	大阪しぐれ 都はるみ	悪女 中島みゆき	キャッツ・アイ 杏里	十戒(1984) 中森明菜
7	おまえとふたり 五木ひろし	街角トワイライト シャネルズ	ハイティーン・ブギ 近藤真彦	ガラスの林檎 松田聖子	娘よ 芦屋雁之助
8	別れでも好きな人 ロス・インディオス&シルヴィア	恋人よ 五輪真弓	チャコの海岸物語 サザンオールスターズ	セカンドラブ 中森明菜	星屑のステージ チェッカーズ
9	さよなら オフコース	チェリーブラッサム 松田聖子	情熱・熱風・せれなーで 近藤真彦	フラッシュ・ダンス アイリーン・キャラ	北ウイング 中森明菜
10	哀愁でいと 田原俊彦	守ってあげたい 松任谷由実	ふられてBANZAI 近藤真彦	め組のひと ラッツ&スター	サザン・ウインド 中森明菜
1985					
1986					
1987					
1988					
1989					
1	ジュリアに傷心 チェッカーズ	CHA-CHA-CHA 石井明美	命くない 瀬川瑛子	パラダイス銀河 光GENJI	Diamonds プリンセス・プリンセス
2	ミア・モーレ 中森明菜	DESIRE 中森明菜	TANGO NOIR 中森明菜	ガラスの十代 光GENJI	世界でいちばん熱い夏 プリンセス・プリンセス
3	恋におちて 小林明子	仮面舞踏会 少年隊	雪国 吉幾三	Diamondハリケーン 光GENJI	とんぼ 長瀬剛
4	Romanticが止まらない C-C-B	Ban BAN Ban KUWATA BAND	STAR LIGHT 光GENJI	DAYBREAK 光GENJI	男闘呼組 太陽がいっぱい 光GENJI
5	あの娘とスキヤンダル チェッカーズ	My Revolution 渡辺美里	Strawberry Time 松田聖子	乾杯 長瀬剛	愛が止まらない Wink
6	飾りやないのよ涙は 中森明菜	恋におちて 小林明子	難破船 中森明菜	MUGO・ん…色っぽい 工藤静香	恋一夜 工藤静香
7	SAND BEIGE 中森明菜	ジプシー・クイーン 中森明菜	Blonde 中森明菜	剣の舞 光GENJI	淋しい熱帯魚 Wink
8	俺たちのロカビリーナイト チェッカーズ	スキップ・ビート KUWATA BAND	無錫旅情 尾形大作	ANGEL 水室京介	嵐の素顔 工藤静香
9	悲しみにさよなら 安全地帯	OH!! POPSTAR チェッカーズ	追憶 五木ひろし	人魚姫 mermaid 中島みゆき	黄砂に吹かれて 工藤静香
10	天使のウインク 松田聖子	青いスタシオン 河合その子	君だけに 少年隊	You Were Mine 久保田利伸	涙をみせないで Wink

1990年代

順位	1990	1991	1992	1993	1994
1	おどるボンボロリン B.B.クィーンズ	ラブストーリーは突然に 小田和正	君がいるだけで 米米CLUB	YAH YAH YAH YAH YAH YAH	CHAGE & ASKA innocent world Mr.Children
2	浪漫飛行 米米CLUB	SAY YES CHAGE & ASKA	悲しきは雪のように 浜田省吾	愛のままにわがままに B'z	ロマンスの神様 広瀬香美
3	今すぐKiss Me LINDBERG	愛は勝つ KAN	BLOWIN' / TIME B'z	ロード B'z	THE 虎舞竜 鹿原涼子 with tkomuro
4	さよなら人類 たま	どんなきも。 横原敬之	それが大事 大事MANブラザーズバンド	エロティカ・セブン サザンオールスターズ	Don't Leave Me B'z
5	OH YEAH! プリンセス・プリンセス	はじまりはいつも雨 ASKA	涙のキッス サザンオールスターズ	裸足の女神 B'z	空と君のあいだに 中島みゆき
6	Dear Friend 中森明菜	あなたに会えてよかった 小泉今日子	ガラガラヘビがやってくる とんねるず	負けないで ZARD	空も飛べるはず スピッツ
7	情熱の薔薇 THE BLUE HEARTS	LADY NAVIGATION B'z	もう恋なんてしない 横原敬之	時の扉 WANDS	survival dAnce trf
8	くちびるから囁き 工藤静香	しゃぼん玉 長瀬剛	if CHAGE & ASKA	真夏の夜の夢 松任谷由実	あなただけ見つめてる 大黒摩季
9	真夏の果実 サザンオールスターズ	Eyes to me DREAMS COME TRUE	PIECE OF MY WISH 今井美樹	揺れる想い ZARD	Boy Meets Girl trf
10	If We Hold on Together ダイアナ・ロス	ALONE B'z	浅い眠り 中島みゆき	世界中の誰よりきっと 中山美穂 & WANDS	世界が終わるまでは… WANDS
1995					
1996					
1997					
1998					
1999					
1	LOVE LOVE LOVE DREAMS COME TRUE	名もなき詩 Mr.Children	CAN YOU CELEBRATE? 安室奈美恵	誘惑 GLAY	だんご3兄弟 水木けんたろう他
2	WOW WAR TONIGHT H Jungle With t	DEPARTURES globe	踊子の少年 KinKi Kids	夜空ノムコウ SMAP	Automatic 宇多田ヒカル
3	HELLO 福山雅治	LA・LA・LA LOVE SONG 久保田利伸	ひだまりの詩 Le Couple	my graduation SPEED	Winter,again GLAY
4	Tomorrow never knows Mr.Children	チェリー スピッツ	FACE globe	タイミン BLACK BISCUITS	monochrome 浜崎あゆみ
5	シューシュー・ゲーム Mr.Children	花 - Memento-Mori - Mr.Children	STEADY SPEED	SOUL LOVE GLAY	energy flow 坂本龍一
6	Hello,Again MY LITTLE LOVER	Hello,my friend 松任谷由実	PRIDE 今井美樹	長い間 Kiroro	Addicted To You 宇多田ヒカル
7	奇跡の地球(ぼし) 桑田佳祐 & Mr.Children	愛の言葉 サザンオールスターズ	YOU ARE THE ONE TK PRESENTSこねと	HONEY KinKi Kids	L'Arc~en~Ciel Movin'on without you 宇多田ヒカル
8	TOMORROW 岡本真夜	I'm proud 華原朋美	Everything (It's you) Mr.Children	愛されるより愛したい KinKi Kids	LOVEマシーン モーニング娘。
9	ロビンソン スピッツ	Don't wanna cry 安室奈美恵	HOWEVER GLAY	Time goes by Every Little Thing	BE WITH YOU GLAY
10	LOVE PHANTOM B'z	Chase the Chance 安室奈美恵	WHITE LOVE SPEED	全部だきしめて KinKi Kids	HEAVEN'S DRIVE L'Arc~en~Ciel

2000年代

順位	2000	2001	2002	2003	2004
1	TSUNAMI サザンオールスターズ	Can You Keep A Secret? 宇多田ヒカル	independent 浜崎あゆみ	世界に一つだけの花 SMAP	瞳をとじて 平井堅
2	桜坂 福山雅治	M 浜崎あゆみ	traveling 宇多田ヒカル	虹 福山雅治	Sign Mr.Children
3	Wait & See ~ リスク ~ 宇多田ヒカル	PIECES OF A DREAM CHEMISTRY	ワダツミの木 元ちとせ	COLORS 宇多田ヒカル	Jupiter 平原綾香
4	Love Day After Tomorrow 倉木麻衣	波乗りジョニー 桑田佳祐	Life goes on Dragon Ash	さくら(独唱) 森山直太朗	花 ORANGE RANGE
5	SEASONS 浜崎あゆみ	恋愛レボリューション21 モーニング娘。	Way of Difference GLAY	月のしずく RUI	拳 Mr.Children
6	らいおんハート SMAP	白い恋人達 桑田佳祐	SAKURAD'ROPPS 宇多田ヒカル	明日への扉 I WISH	かたも飛べるもの 柴咲コウ
7	恋のダンスサイト モーニング娘。	evolution 浜崎あゆみ	大きな古時計 平井堅	涙の海で抱かれたい サザンオールスターズ	ロコローション ORANGE RANGE
8	今夜月の見える丘に B'z	ボクの背中には羽根がある KinKi Kids	愛のうた ストロベリー・フラワー	ourselves Mr.Children	涙をみせないで サザンオールスターズ
9	ちょっつとLOVE ブッチモニ	Lifetime Respect 三木道三	Voyage 浜崎あゆみ	HERO Mr.Children	桜 河口恭吾
10	NEO UNIVERSE L'Arc~en~Ciel	アゲハ蝶 ポルノグラフィティ	光 宇多田ヒカル	大切なもの ロードオブメジャー	Mickey Gorie with Jasmine & Joern
2005					
2006					
2007					
1	青春アミーゴ 修二と彰	Real Face KAT-TUN	千の風になって 秋川雅史		
2	さくら ケツメイシ	粉雪 レミオロメン	Flavor Of Life 宇多田ヒカル		
3	未来 Mr.Children	青春アミーゴ 修二と彰	蕾(つぼみ) コブクロ		
4	* ~ アスタリスク ~ ORANGE RANGE	抱いてセニョリータ 山下智久	Love so sweet 嵐		
5	SCREAM GLAY x EXILE	SIGNAL KAT-TUN	Keep the faith KAT-TUN		
6	Anniversary KinKi Kids	ただ…逢いたくて EXILE	喜びの歌 KAT-TUN		
7	OCEAN B'z	しるし Mr.Children	明日晴れるかな 桑田佳祐		
8	ラヴ・バラード ORANGE RANGE	純恋歌 湘南乃風	旅立ちの唄 Mr.Children		
9	ファンタスティコ トラジ・ハイジ	supernova / カルマ BUMP OF CHICKEN	関風ファイティング 関ジャニ∞		
10	GLAMOROUS SKY NANA starring NINA NAKASHIBIRA	タイヨウのうた Kaoru Amami	wееееек NEWS		